

# 保安防災・労働安全衛生

## 保安防災

2015年度は安全確保と安定操業達成、保安力向上を目標に、製造事前評価、プロセスKY、設備KYを徹底した結果、火災、爆発、漏洩等の事故の発生はありませんでした。重大事故ゼロの継続に向け、2014年度から工場における安全文化評価の検討を開始し、2015年度に全工場で本格的な取り組みを行いました。その結果、経営者層、管理者層、作業員層間のコミュニケーションギャップ等の重要な課題が抽出されました。今後は課題の克服に努め、全工場で安全文化の醸成を進めていきます。さらに、2016年度は研究所および関係会社へも安全文化評価の取り組みを拡大していきます。

また、工場、研究所ならびに関係会社では、各箇所の立地や地域性を考慮して総合防災訓練、地震防災、初期消火、連絡通報などの各種訓練を毎年実施し、緊急時あるいは事故発生時に確実な対応が取れるように備えています。



石油コンビナート総合防災訓練

### TOPICS

#### 安全トレーニングセンター

富士工場内にトレーニングセンターを設置し、勤続10年以内の従業員を対象に、機械・電気・計装の項目について、安全な作業方法を指導しています。具体的には、挟まれ・巻き込まれ体験や、保護具の正しい着用と使用方法などの指導を行っています。他工場からの参加もあり、社内全体の安全意識向上に寄与しています。



## 労働安全衛生

労働安全衛生に関しても、RCマネジメントシステムのなかで、PDCAを回す継続的改善によって、労働災害の防止、労働者の健康増進、快適な職場環境を形成して、各事業所の安全衛生レベルの向上を図っています。労災が発生した事業所では、徹底した原因究明を行い、応急対策および恒久対策を実行または計画して、環境安全・品質保証部および人事部に以下の例のように報告します。環境安全・品質保証部は当該報告書を全事業所へ、被災者の個人情報保護したうえで発信して、類似災害の発生防止に取り組んでいます。

また、労働災害撲滅のため、2016年度からの3年間で、設備の安全化対策として総額350百万円の投資を計画しています。

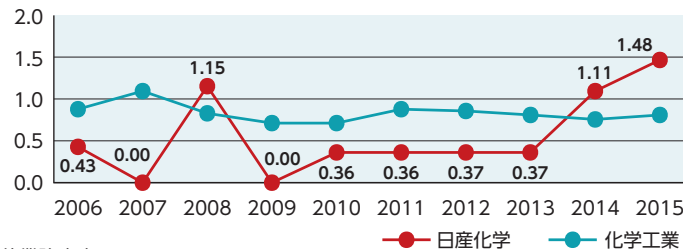
#### 労働災害報告書例

報告書種別	発生年月	発生場所	発生種別	発生原因	被害状況	原因究明	対策
労働災害報告書	2015年10月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年9月	富士工場	手すり	作業中の工具の落下	手すり	工具の取扱い指導	工具の取扱いマニュアルの作成
労働災害報告書	2015年8月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年7月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年6月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年5月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年4月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年3月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年2月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入
労働災害報告書	2015年1月	富士工場	腰痛	作業中の姿勢不良	腰痛	姿勢改善指導	腰痛予防器具の導入

## 安全成績

2015年度は、当社として4件の休業災害と6件の不休災害が発生しました。前年度に比べて休業災害が増加しました。度数率も2年続けて悪化するという残念な結果でした。作業に潜むハザードのリスクアセスメントが不十分であったことに加えて、被災者の高齢化による転倒災害の増加が目立つ結果となりました。リスクアセスメントおよび作業前KYの徹底、そして高齢者への配慮を行い、ゼロ災を目指してさらなる安全活動に取り組みます。

休業度数率[%]



休業強度率[%]

